

民泊家庭と体験インストラクターを募集!!

おくうら地区 体験民泊

奥浦地区では今年度、10校の教育旅行の受入れを行う予定となっています。

関東や関西、遠くは北海道から沢山の子供達が奥浦を訪れます。

初めて訪れた土地で、初めて会う人の家に泊まるのは子供達も不安で、受け入れる側も不安だと思えますが、限られた時間の中で一緒に過ごしたり、一緒にご飯を作って食べたりするうちに、次第に絆が深まり、かけがえのない思い出になっているようです。

民泊家庭を募集しています!!

近年五島市では、教育旅行の申し込みや個人の民泊希望者が増加傾向にあります。

地域の方とのふれあいや、自然豊かなこの島でしか味わえない体験が、魅力となっています。

体験インストラクターのみの募集も行ってます!

体験時間は3時間程度です。漁業体験、農作業体験、郷土料理作りなどの体験インストラクターになってくださる方を募集しています。船釣り等に必要な遊漁船の講習会も行われています。

興味のある方は、

奥浦出張所(小嶋) TEL73-0939

までご連絡ください。お待ちしております!

竹細工



カンコロ作り



すいみあげ作り



いかだ釣り

使

わなくなった釣竿がありませんか?



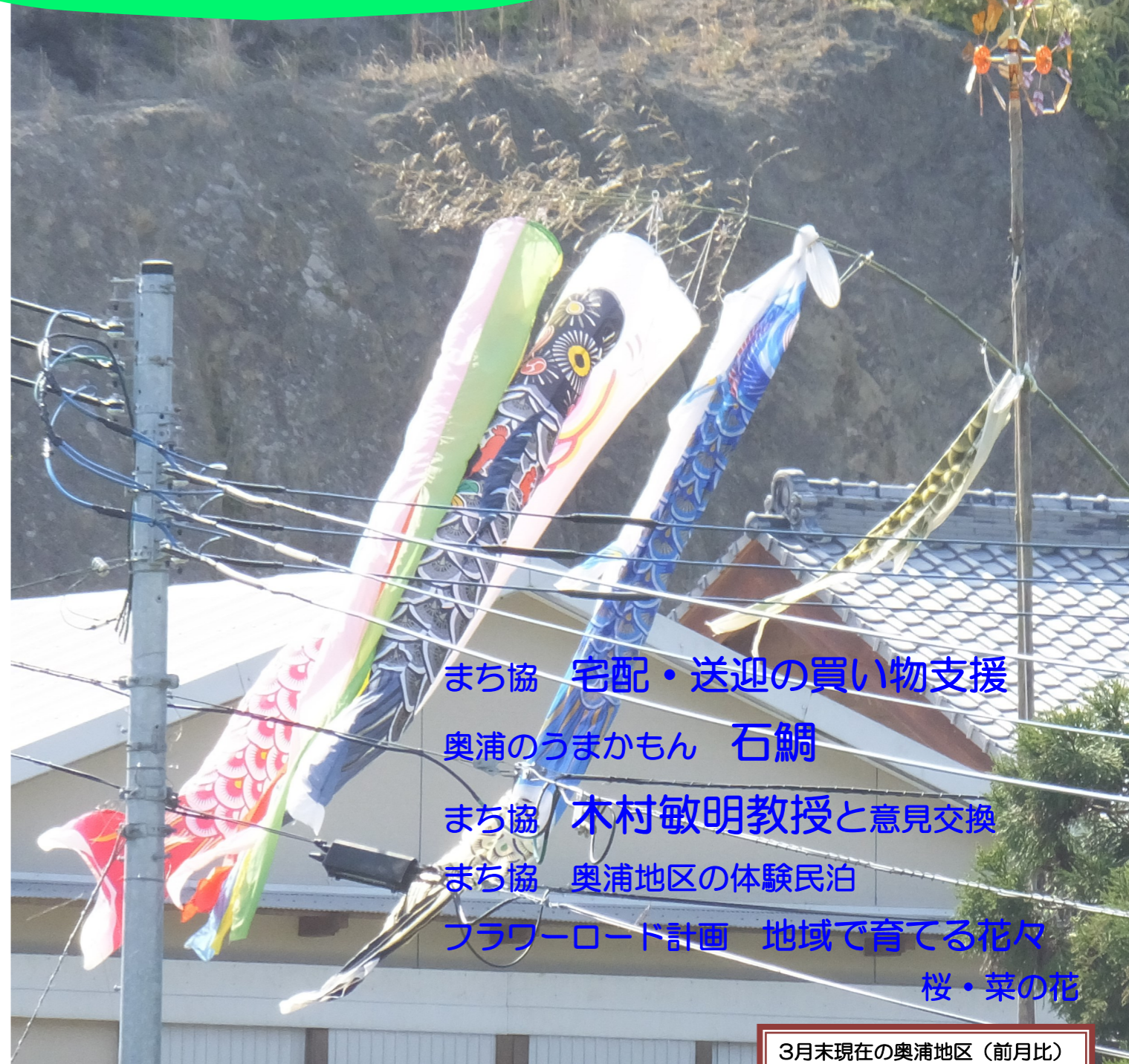
海での釣り体験はとても人気がありますが、竿やリールが破損しやすいため、お家で使わなくなったものがあればまち協へ譲っていただくと助かります。よろしくお願ひ致します。

★月1回発行 長崎県五島市(奥浦地区)戸別配布

～奥浦だより～

よかところ! おくうら

5月号



まち協 宅配・送迎の買い物支援

奥浦のうまかもん 石鯛

まち協 木村敏明教授と意見交換

まち協 奥浦地区の体験民泊

フラワーロード計画 地域で育てる花々

桜・菜の花

フラワーロード計画

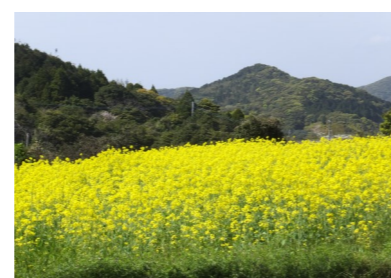
地域で育てる花々 [春の花]

桜・菜の花

今年は春先まで寒い日が続き、例年になく4月中旬まで桜を楽しむことができました。

入学式には満開となり、子どもたちを祝福しているようでした。

旧慈恵院下の道路余地の桜や、平和のばら保育園下の休耕地の菜の花も楽しみですね。



<お断り>

今月号の

★ 今月のキラ★おくうらの達人

★ おくうらの事業所紹介

はお休みさせていただきます。

3月末現在の奥浦地区(前月比)

人口: 1,065人 (-8)
 前年3月末: 1,073人
 世帯数: 603世帯 (+1)
 20歳未満: 121人 (±0)
 20~39歳: 96人 (±0)
 40~64歳: 377人 (-1)
 65歳以上: 471人 (-3)
 高齢化率: 44.23% (+0.05)
 平均年齢: 57.6歳

よろしくお願ひします



鍋内 秀喜

4月1日から、おくら夢のまちづくり協議会事務局 磯沖事務局長の後任となりました、奥浦出張所 鍋内秀喜です。地域の皆様と一緒に奥浦地域を盛り上げ、奥浦に住んでよかったと思えるまちづくりができればと思います。皆様のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



小嶋 久実子

4月より奥浦の集落支援担当となりました。奥浦は、自然が美しい印象がありますが、その他は何も分かりません。地域の方々と接しながら、色々学んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

宅配・送迎の買い物支援

毎月第1・第3の火・水に送迎

■送迎の買い物支援が4月から定期運行を行っています。

シティーモール、バリューに停まります。詳細は各世帯配布の運行表をご覧ください。(協賛金500円/1回)



お店での買い物時間は1時間。ゆっくり買い物ができます。



■週1回の宅配の買い物支援も継続します。

これまで通り、毎週木曜日に注文、金曜日に配達します。ご利用ください。(登録料500円/月)



ドライバー・買い物支募集 中です!!

送迎の買い物支援で、まち協車(9人乗り)を運転して下さる方を探しています。送迎は2週間に1回(火・水の2日間)で、1日約5時間(午前3時間、午後2時間)です。

奥浦の うまかもん 石鯛

いしだい



五島列島は、全国的にも有名な釣りポイントが目白押しですが、奥浦もその1つです。体側に黒い横縞があり、成長すると消えるかわりに口の周辺が黒くなります。皮目の部分には甘みのある脂があり、皮の部分はコリコリと歯ごたえもあるので、皮を軽く焦げ目がつくくらい焼いたあぶりはお勧めです。

シーズンは、4月下旬から11月頃です。



石鯛のあぶりとお刺身



南河原防波堤

東京農業大学

木村 俊昭教授と意見交換

～五島市を視察～



プロフィール
1960年生まれ 北海道出身
地方創生・地域際背の先駆者

4月20日(木)、奥浦公民館で、奥浦の産業と地域活動の現状について、意見交換が行われました。

奥浦のまちづくり協議会は、東京農業大学の木村教授へ、奥浦が行っている買い物弱者支援への取り組みをはじめ、草刈人材バンクや防災マップの作成、教会のイルミネーション活動等をお伝えしました。

その後、木村教授より奥浦の交流人口を増やすためには、奥浦のセールスポイントを決め、統計を取り、的を絞ることで、奥浦を訪れる方々の要望に応える大切さを教えていただきました。

尚且つ、過疎地域を熟知した、木村教授ならではのオリジナル性やストーリー性を持たせた取り組みは、今後の参考となり、貴重な意見交換となりました。

